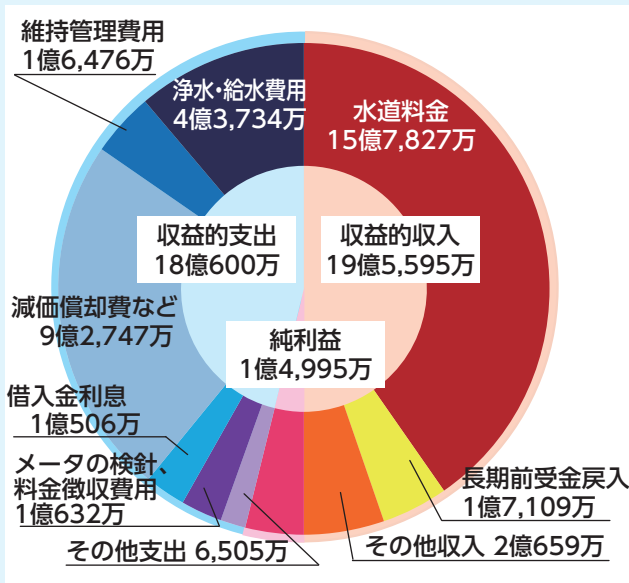


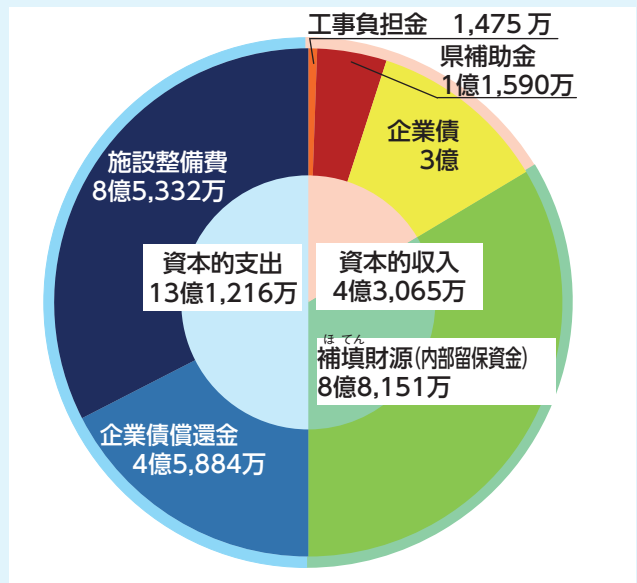
水道事業の決算状況

(単位：円)



令和2年度決算(収益的収支)

令和2年度は、収支差引き1億4,995万円の黒字となりました。一方で水道料金収入が年々減少するなか、災害復旧や漏水修繕などの維持管理費が増加しています。

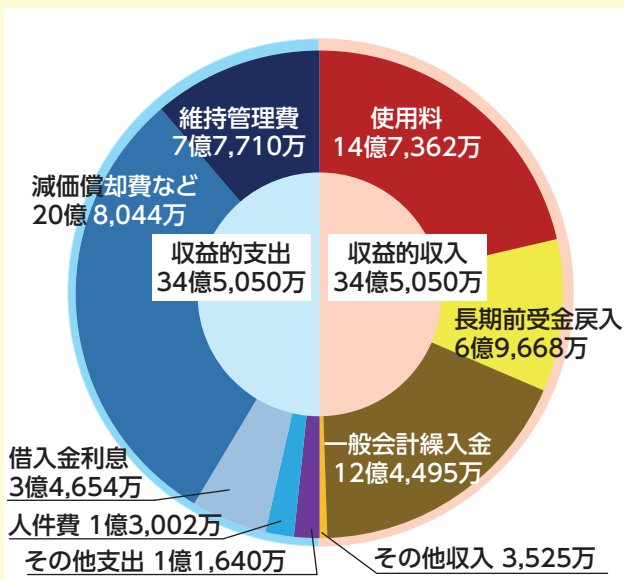


令和2年度決算(資本的収支)

平成28年度以降、特に基幹管路の耐震化整備に力を入れてきたので、ここ数年は収支不足額が多くなっています。不足分は内部留保資金で補っていますが、今後に向けて資金を蓄える必要があります。

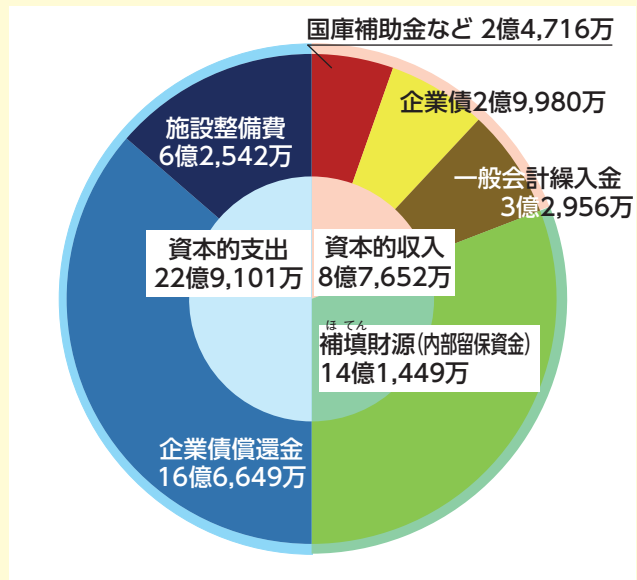
下水道事業の決算状況

(単位：円)



令和2年度決算(収益的収支)

令和2年度は、収入支出とも34億5,050万円(差額0円)でした。独立採算制でありながら、一般会計から12億4,495万円を繰り入れているのが現実です。



令和2年度決算(資本的収支)

宮川終末処理場の沈砂池長寿命化整備をはじめ、市内14カ所で機器更新などを行いました。収支の差引きで14億超が不足し、内部留保資金による補填と一般会計からの繰り入れ(3億2,956万円)をしました。

収入 支出 純利益 補填財源(内部留保資金)